

● 新商品 ●

● 新技術 ●

ウオッチ ●

強い固定力を長期間発揮

篠田の土砂災害応急システム

篠田（岐阜県岐南町、カー土砂災害応急システム篠田篤彦社長）は、土砂

災害の復旧時に表層崩壊
面を覆うブルーシートを
固定して固定するため、
従来の土のうに代わる新
たな「プラティパスアン

カー土砂災害応急システム」の販売を開始した。
土のう袋は重いことに
加え、破れるなどでシー
トに対する抑止力が落ち

た風の吹き込みや雨水浸透を防止するため二次災害も防止できる。同社の施工実績では1年以上シートを抑止し続けている。2017年の九州北部豪雨で被災した福岡県朝倉市などでは土のうに代わるシート抑止資材として採用され、資材量の大

幅削減や安全性などの有効性を実証した。

同社では、土砂災害に備えた新しい方法として、土木建設業者をはじめ、自治体の災害用倉庫の備蓄などへの普及を図る。問い合わせ先は経営企

プラティパスアンカー 土砂災害応急システム

起伏のある斜面でも簡単にブルーシートを固定できる軽量なアンカー。土砂災害後に、表層崩壊面の雨水浸透を長期間防止できる。



でも3ステップで簡単に打ち込み、アンカーが地中で転回することで強い固定力を長期間発揮する。ま

画室・國枝 電話058(214)3495。

サービス
紙面PDF
無料で
できます。
www.yokohama-elevator.jp/

建設工業新聞

優 動
comfortable space
空 間

豊かな経験・最高の技術
ロープ式・油圧式エレベーター設計・製作・据付・保守
横浜エレベーター株式会社
横浜市中区松影町2-8-6 ☎045(662)1594(代表)
http://www.yokohama-elevator.jp/

軽量アンカーシステム普及へ

災害時の人手不足解消に貢献しようとして、土木建設資材販売の篠田(岐阜市、篠田篤彦社長)が海外から取り入れた「プラティパスアンカー」土砂災害応急システム」の普及に力を注いでいる。表層崩壊したのり面などを覆い、雨水浸透を防ぐブルーシートをしっかと固定することができる。本復旧工事開始までシートが剥がれず機能を保持でき、再施工も回避できる。毎年豪雨被害が発生する九州地区などに導入を呼び掛ける。



災害時に表層崩壊したのり面などに掛けたブルーシートを固定する際、土のうを積むのが一般的なやり方。ただ、起伏のある箇所では、風雨などシートが剥がれてしまいがち。雨水浸透を防止する本来機能が維持できなくなるケースもある。スモもある。ここ数年災害が多発し、被災地では本復旧工事までの期間が長期化する傾向にある。応急処置として掛けたブルーシートをしっかと固定し、機能を長持ちさせることができれば、災害時に課題となる人手不足の解消などに貢献することができる。



アンカー20本入りの土砂災害応急キット

篠田は英国を拠点とするプラティパスアンカーズリミテッドが開発したアンカーシステムを日本市場に適した製品として売り込む上で、災害時の応急処置を巡るこうした課題に着目。約1分でアンカー1本の打ち込みが完了するなど、簡単な施工方法でブルーシートが固定できることとして、1年半ほど前から豪雨災害に見舞われた地域などをターゲットにした採用活動に取り組み始めた。

ブルーシートしっかと固定

篠田

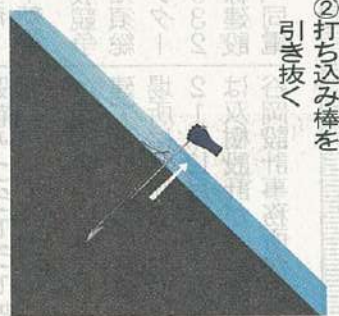
販売するシステムは、1本150gと軽量のアンカー20本と打ち込み棒2本が1セット。持ち運びに便利なケースに入った「キット」は、災害用倉庫や消防団の詰め所などへの備蓄にも適している。ブルーシートを掛ける作業では▽打ち込み棒を用いてワイヤ付きのアンカーを40g以上の深さまで打ち込む▽打ち込み棒を引き抜く▽ワイヤを引っ張って地上部を丸いプレート(直径9g)で固定するという三つの工程で1本分が完了。アンカーは地中で回転する独自の仕組みで強い固定力を発揮する。システム1セットで100平方メートル相当のシートを設置することが可能となる。

災害の多い九州地区にシステムを売り込む福岡事務所の工藤苑子営業企画室主任は「力の弱い女性や専門的な技術を持たない人でも簡単に施工することができます」と話す。ブルーシートは固定した状態で機能が長持ちするよう厚手の「#4000」番台の利便性を推奨。機能維持で再施工の手間も省け、二次災害の防止につながることを期待できる。

施工手順



①アンカーを打ち込む



②打ち込み棒を引き抜く



③ワイヤを引っ張る



のり面での施工状況



凹凸がある箇所でもしっかと固定

災害時の人手不足解消に貢献

道路、治山、河川・砂防といった土木系のジャンルで資材を販売し、創業100年を越える歴史を持つ同社。時代の流れにも対応しながら海外資材も積極的に取り込んで事業の幅を広げつつある。応急処置用に売り込み始めたシステムについて同社では、種類も豊富なアンカーの機能を生かしてさまざまな用途への展開も視野に入れている。海外ではのり面対策に加え、根鉢、太陽光パネル、構造物などを固定するにも利用されているという。